

高齢者に関する調査結果の概要

1 調査の目的と調査方法

1-1 調査の目的

(介護予防・日常生活圏域ニーズ調査)

高齢者の暮らし方や健康状態等を把握し、介護予防や地域の支え合いの推進に役立てるためのデータを得るとともに、介護保険事業計画策定のための基礎資料とする。

(在宅介護実態調査)

「高齢者等の適切な在宅生活の継続」と「家族等介護者の就労継続」の実現に向けた介護サービスの在り方を検討するためデータを得るとともに、介護保険事業計画策定のための基礎資料とする。

1-2 調査の方法

調査対象や調査数、調査期間等、調査方法は下記の通りです。

項目	介護予防・日常生活圏域 ニーズ調査	在宅介護実態調査
調査対象者	佐賀中部広域連合域内(佐賀市・多久市・小城市・神崎市・吉野ヶ里町)在住の要介護認定を受けていない 65 歳以上の方(要支援認定者を含む)	佐賀中部広域連合(佐賀市・多久市・小城市・神崎市・吉野ヶ里町)内 在住の要介護認定を受けている 65 歳以上の方
調査数	15,000 人	1,000 人
調査方法	郵送配布・郵送回収による本人記入方式	認定調査員による聞き取り調査方式
調査期間 ※または調査基準日	令和4年12月28日(水)～ 令和5年1月31日(火)	令和4年12月27日(火)～ 令和5年3月31日(金)
調査票回収数	8,371 件	783 件
回収率	55.8%	78.3%

※本資料における「n」「SA」「MA」「数量」は、それぞれ

「n」 = サンプル数のこと

「SA」 = 単数回答のこと(Single Answer の略)

「MA」 = 複数回答のこと(Multiple Answer の略)

「数量」 = 数量回答のこと

を示します。

2 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査結果

2-1 調査結果の概要

(1) 回答者の属性

回答者の約5割が75歳以上、女性が約6割を占める。家族構成では、65歳以上のみの世帯が半数以上となっている。

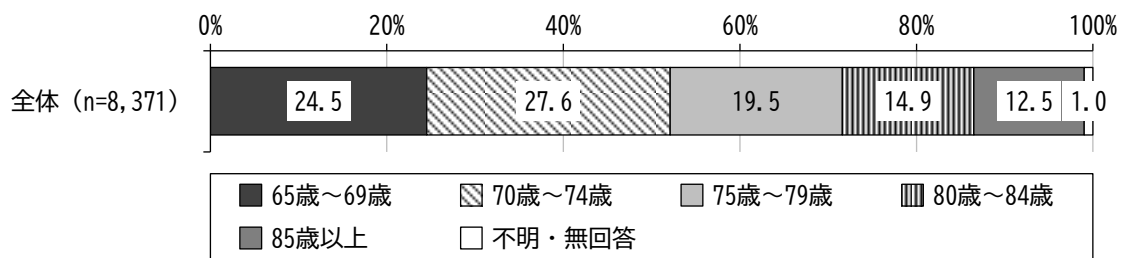
回答者の年齢は、65歳以上74歳以下が52.1%、75歳以上が46.9%とそれぞれ約半数を占めている。性別は女性が約5割台半ば、男性が4割台前半。

介護状態区分は、「受けていない」が89.1%、要支援1が3.9%、要支援2が3.9%。

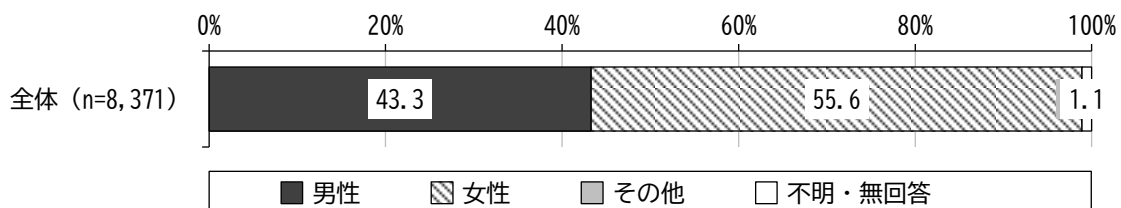
地域構成は、佐賀市が66.1%、多久市が4.1%、小城市が12.9%、神崎市が11.0%、吉野ヶ里町が4.6%。

家族構成は、1人暮らしが17.2%、夫婦とも65歳以上の2人暮らしが39.1%で、65歳以上のみの世帯で暮らす人が全体の半数以上を占めている。

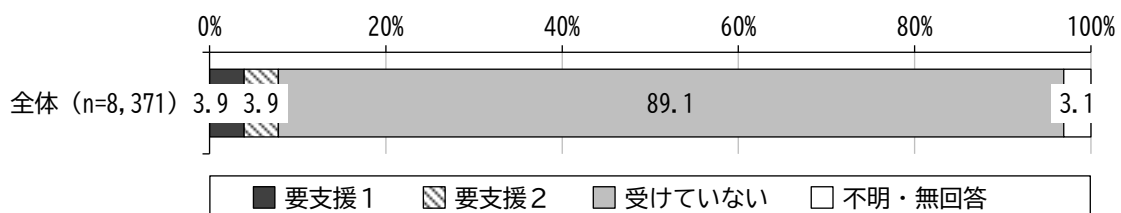
【年齢】 (SA)



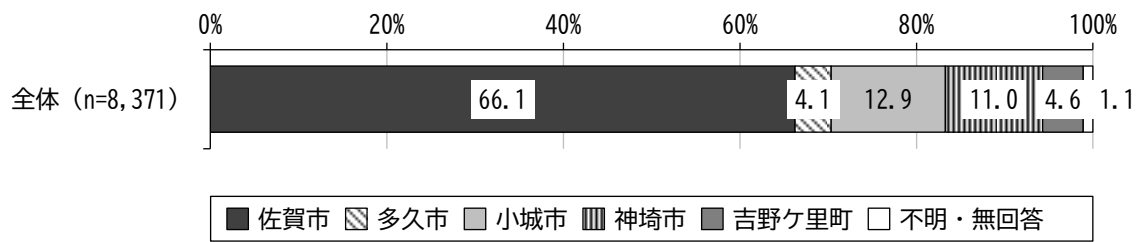
【性別】 (SA)



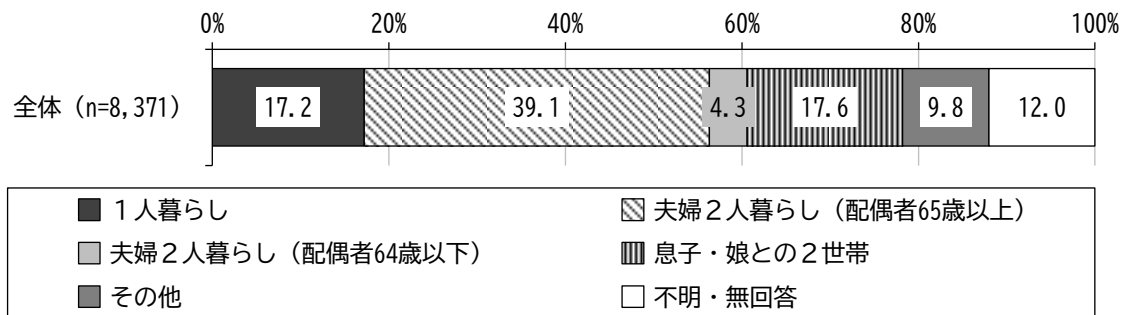
【介護状態区分】 (SA)



【地域構成】 (SA)



【家族構成】 [問1 (1)] (SA)



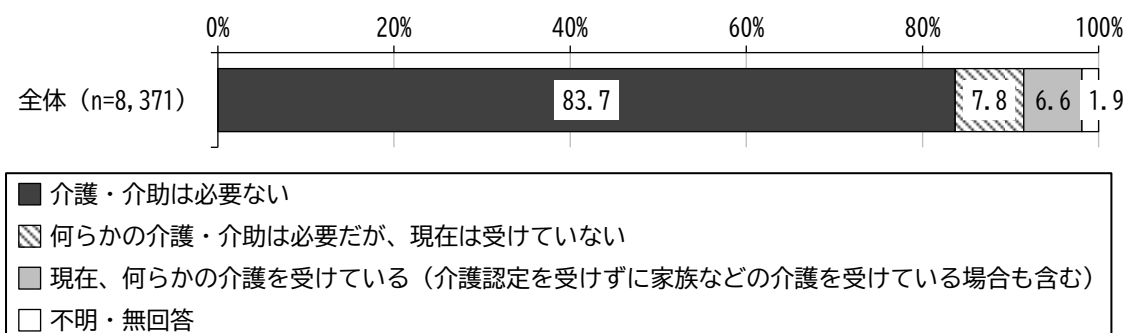
(2) 介護・介助者の状況

何らかの介護・介助が必要な人は約1割。主な介護・介助者は、配偶者(夫・妻)と娘の割合が高い。

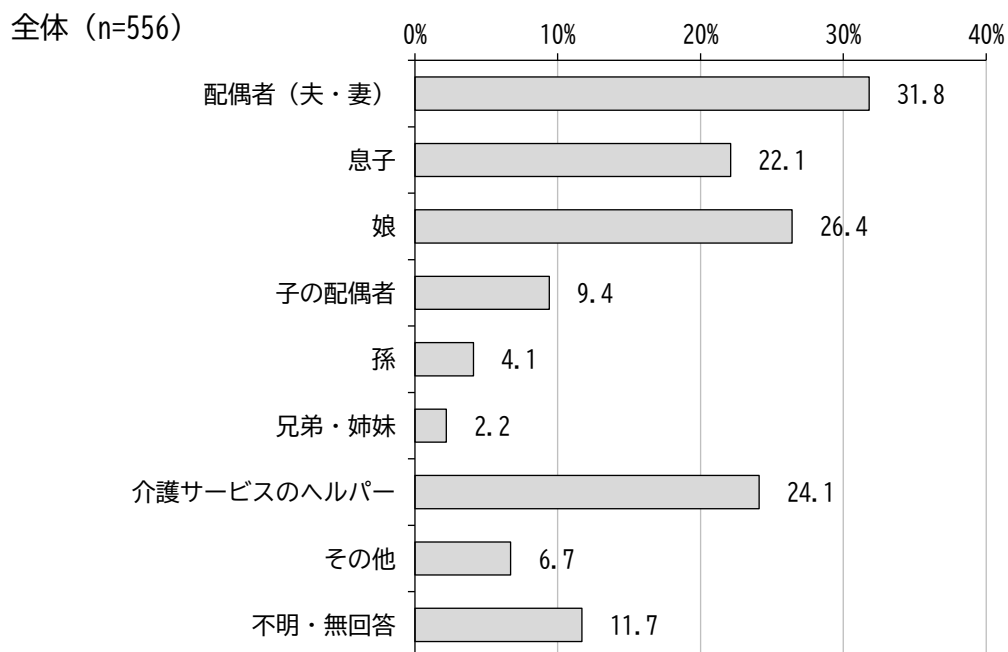
介護・介助の状況は、「介護・介助は必要ない」が83.7%と過半数を占めるが、「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」と、「現在、何らかの介護を受けている」をあわせた、『何らかの介護・介助が必要』な人が14.4%と約1割となっている。

主な介護・介助者は、「配偶者(夫・妻)」が31.8%と最も高く、次いで「娘」が26.4%となっている。

【介護・介助の状況】[問1(2)](SA)



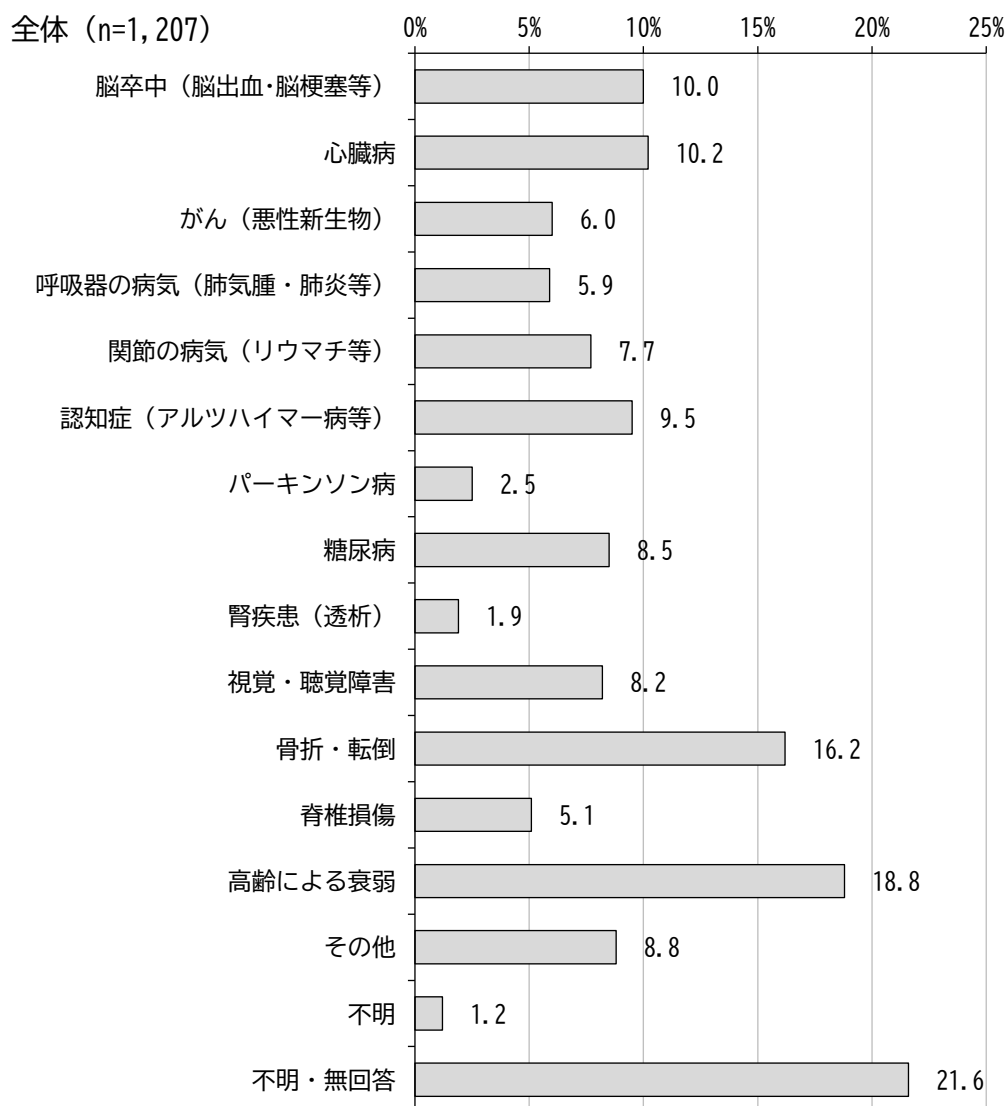
【主な介護・介助者】[問1(2)②](MA)



介護・介助が必要になった主な原因としては、高齢による衰弱、骨折・転倒が約2割。

介護・介助が必要になった主な原因としては、「高齢による衰弱」が18.8%、「骨折・転倒」が16.2%とそれぞれ約2割。また、「脳卒中（脳出血・脳梗塞等）」、「心臓病」、「関節の病気（リウマチ等）」、「認知症（アルツハイマー病等）」、「糖尿病」、「視覚・聴覚障害」では約1割回答がみられる。

【介護・介助が必要になった主な原因】[問1(2)①](MA)



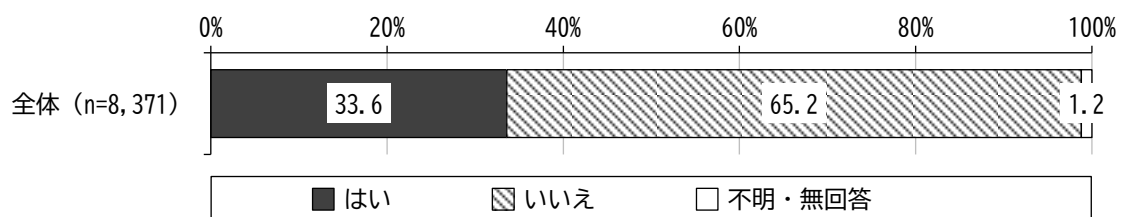
(3) 外出について

3人に1人が外出を控えており、理由として「足腰などの痛み」が最も高い。移動手段は「自動車(自分で運転)」が最も高い。

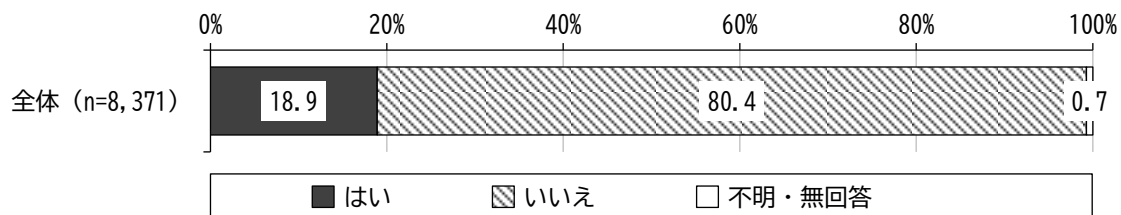
3人に1人が、外出を控えていると回答している。その理由として、「足腰などの痛み」が35.4%で最も高い。

外出する際の移動手段は、「自動車（自分で運転）」が全体で68.2%と最も高い。

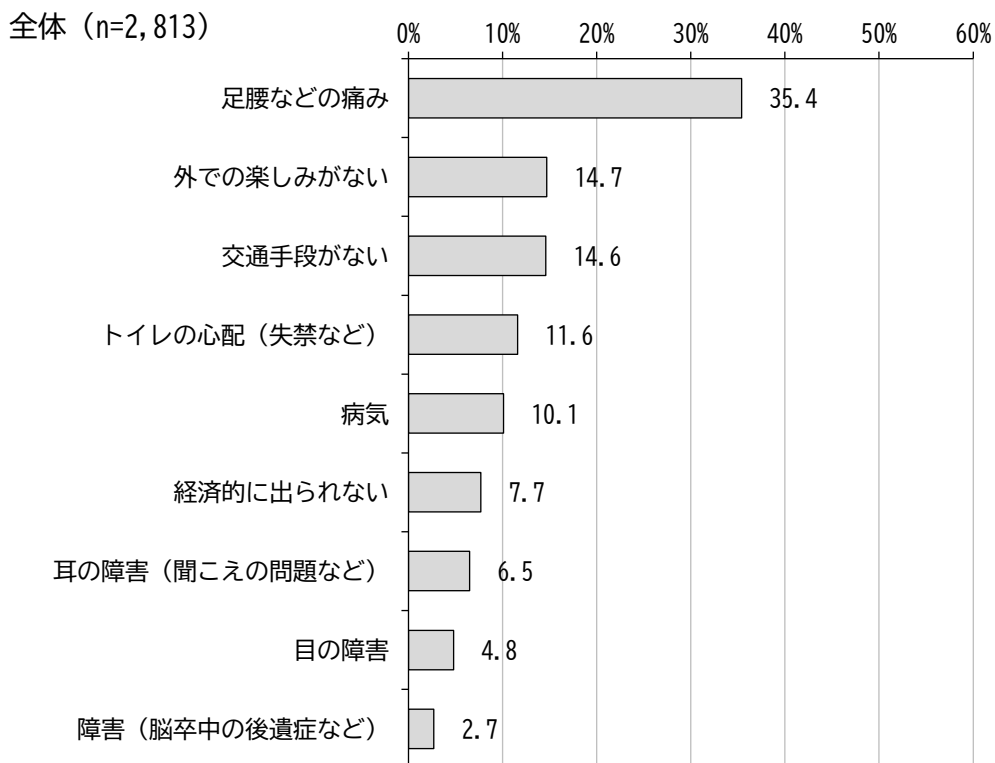
【外出を控えているか】[問2(8)](SA)



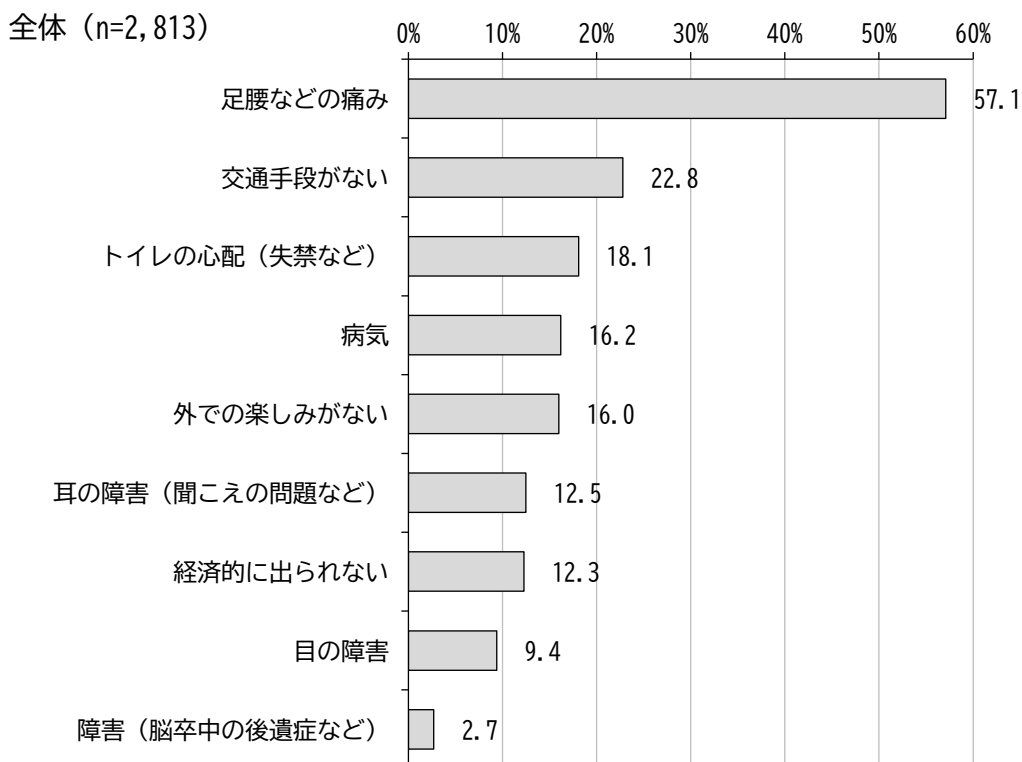
【前回(第8期)の結果】



【外出を控えている理由(上位抜粋)】 [問2 (8) ①] (MA)



【前回(第8期)の結果】



【外出する際の移動手段】[問2(9)](MA)

	全 体	【男性 計】	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳以上
	N=8,371	N=3,626	N=938	N=1,078	N=695	N=515	N=396
徒歩	34.8	35.4	36.4	34.5	37.1	33.0	35.6
自転車	19.5	22.6	21.3	22.4	23.0	24.1	23.7
バイク	2.5	3.3	5.0	3.5	3.3	1.7	0.8
自動車(自分で運転)	68.2	82.1	92.0	87.8	86.5	75.0	44.9
自動車(人に乗せてもらう)	22.2	12.2	6.8	9.0	9.8	17.5	31.1
電車	2.1	2.0	3.6	1.8	0.9	1.9	0.5
路線バス	10.2	5.8	4.8	4.5	5.5	7.2	11.1
病院や施設のバス	1.6	0.7	0.2	0.4	0.1	0.8	4.0
車いす	0.3	0.2	-	0.1	0.1	0.6	0.5
電動車いす(カート)	0.3	0.3	-	0.1	0.1	0.4	1.8
歩行器・シルバーカー	1.3	0.4	0.1	0.1	0.1	-	3.0
タクシー	8.2	5.4	3.5	1.9	2.9	8.2	20.2
その他	0.4	0.3	0.4	0.1	0.1	0.4	1.0
無回答	1.2	1.3	1.2	1.0	1.2	1.6	1.8
	【女性 計】	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳以上	
	N=4,657	N=1,112	N=1,231	N=930	N=727	N=646	
徒歩	34.4	31.8	31.5	34.9	39.1	38.1	
自転車	17.2	16.5	19.1	20.2	18.0	9.4	
バイク	1.8	1.3	1.6	2.6	2.9	1.1	
自動車(自分で運転)	57.7	83.5	70.8	59.4	37.6	9.6	
自動車(人に乗せてもらう)	30.0	19.0	24.0	29.4	36.2	55.0	
電車	2.3	3.0	3.0	1.7	1.9	0.9	
路線バス	13.5	6.6	10.2	14.7	19.9	22.9	
病院や施設のバス	2.3	0.3	0.6	1.3	2.9	9.4	
車いす	0.4	0.4	0.2	-	0.4	1.2	
電動車いす(カート)	0.3	-	-	0.2	0.7	0.8	
歩行器・シルバーカー	2.1	0.3	0.2	0.9	3.2	9.1	
タクシー	10.3	3.4	5.3	7.6	18.2	26.6	
その他	0.5	0.3	0.4	0.1	0.6	1.4	
無回答	1.2	0.7	0.8	1.3	1.5	2.3	

【前回(第8期)の結果】

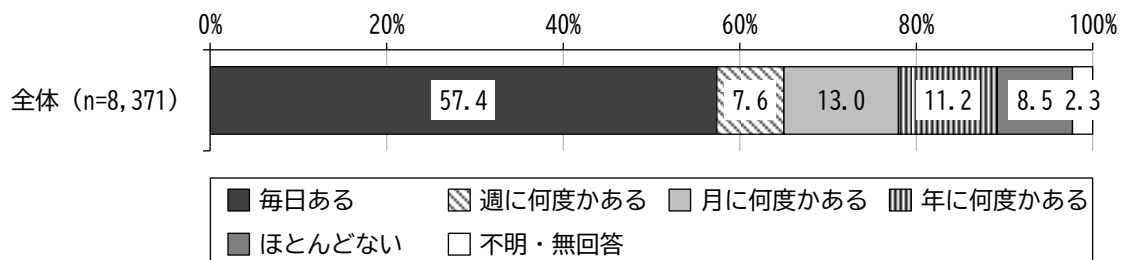
	全体	【男性 計】	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳以上
	N=8,468	N=3,715	N=1,090	N=990	N=752	N=530	N=353
徒歩	36.1	36.3	37.1	38.1	36.2	33.2	34.0
自転車	24.8	27.8	26.4	26.8	32.2	26.0	27.8
バイク	3.4	4.2	5.5	4.0	4.8	2.8	1.7
自動車(自分で運転)	64.2	78.6	88.5	87.5	79.3	67.9	37.7
自動車(人に乗せてもらう)	24.6	13.2	6.8	9.7	12.4	17.0	39.4
電車	4.4	4.2	5.4	5.3	3.5	2.5	2.0
路線バス	14.4	9.3	6.4	8.4	9.6	12.3	16.1
病院や施設のバス	1.9	0.8	0.4	0.3	0.5	0.9	3.4
車いす	0.3	0.2	-	0.1	0.3	0.4	0.3
電動車いす(カート)	0.2	0.3	0.2	-	0.1	0.2	2.0
歩行器・シルバーカー	1.7	0.5	0.1	0.1	0.7	0.6	2.8
タクシー	10.6	7.0	3.5	3.6	6.5	10.2	23.8
その他	1.1	0.6	0.9	0.1	0.9	0.6	0.8
無回答	2.1	2.8	2.4	3.3	3.1	2.5	2.8
	【女性 計】	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳以上	
	N=4,753	N=1,248	N=1,184	N=983	N=728	N=610	
徒歩	36.0	34.8	35.7	38.5	36.5	34.1	
自転車	22.6	23.2	26.3	27.6	21.0	7.9	
バイク	2.8	1.8	3.3	4.6	3.6	0.5	
自動車(自分で運転)	52.9	77.0	68.9	48.9	28.8	7.7	
自動車(人に乗せてもらう)	33.5	23.3	25.3	33.7	42.6	59.3	
電車	4.5	6.5	4.6	4.1	3.6	2.1	
路線バス	18.3	12.6	14.2	22.2	27.1	21.3	
病院や施設のバス	2.8	0.4	0.5	1.7	4.5	11.6	
車いす	0.4	0.3	0.3	-	0.3	1.6	
電動車いす(カート)	0.2	0.1	0.1	-	0.1	1.1	
歩行器・シルバーカー	2.6	0.3	0.1	1.3	4.4	11.8	
タクシー	13.5	5.0	6.8	14.4	22.1	31.8	
その他	1.4	0.6	0.3	1.4	2.1	3.9	
無回答	1.6	1.1	1.2	2.2	2.1	1.6	

(4) 友人とのつながりや地域活動への参加について

誰かとの食事の機会は、「年に何度かある」と「ほとんどない」をあわせた割合が約2割。

誰かとの食事の機会は、「毎日ある」が過半数を占める一方、「年に何度かある」と「ほとんどない」をあわせた割合が約2割となっている。

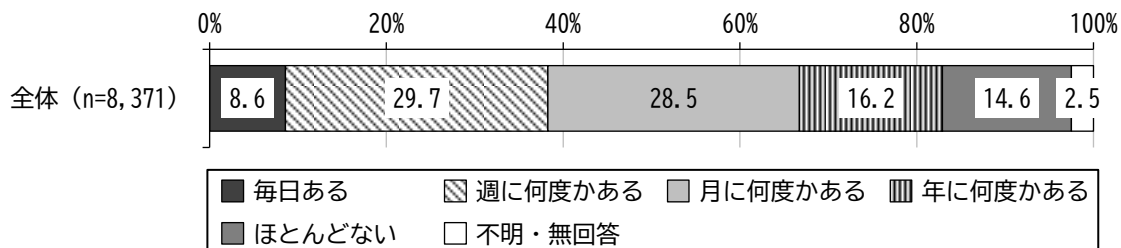
【誰かとの食事の機会】[問3(8)](SA)



友人・知人と会う頻度は、定期的に出会っている人が約4割。

友人・知人と会う頻度は、「毎日ある」「週に何度かある」を合わせると約4割の人が友人・知人と定期的に出会っている。一方、7人に1人は「ほとんどない」となっている。

【友人・知人と会う頻度】[問6(6)](SA)

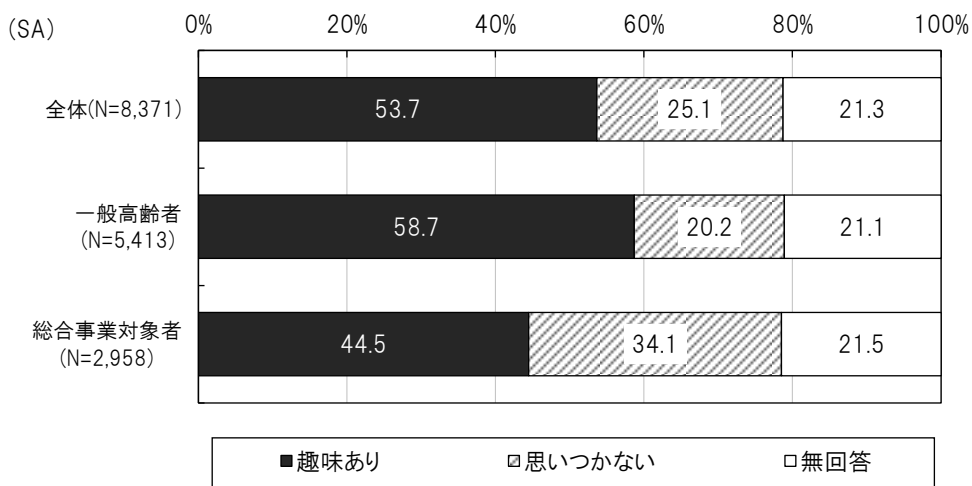


4人に1人は趣味「思いつかない」、3人に1人は生きがい「思いつかない」。

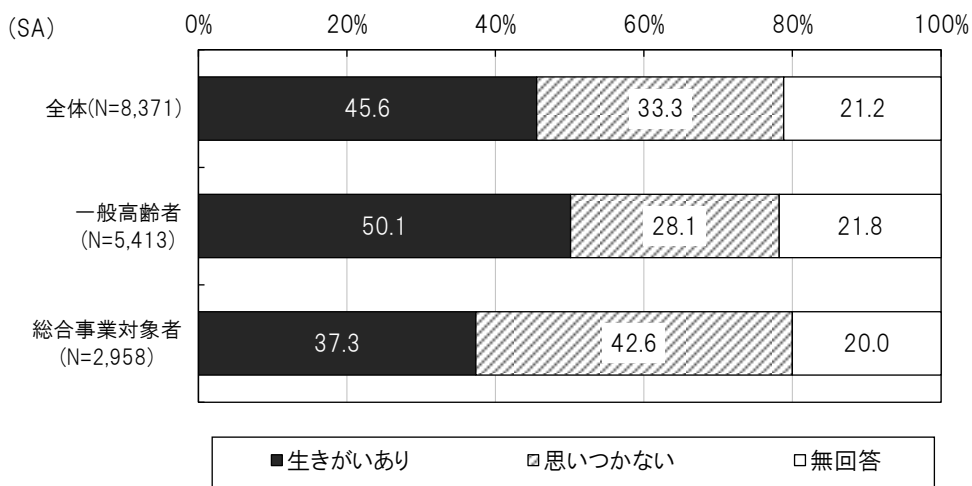
「趣味あり」が過半数を占める一方、4人に1人は「思いつかない」となっている。一般高齢者と総合事業対象者の結果を比較すると一般高齢者の方が「趣味あり」の割合が高い。

「生きがいあり」が半数近くを占める一方、3人に1人は「思いつかない」となっている。一般高齢者と総合事業対象者の結果を比較すると一般高齢者の方が「生きがいあり」の割合が高い。

【趣味の有無】[問4 (17)] (SA)



【生きがいの有無】[問4 (18)] (SA)

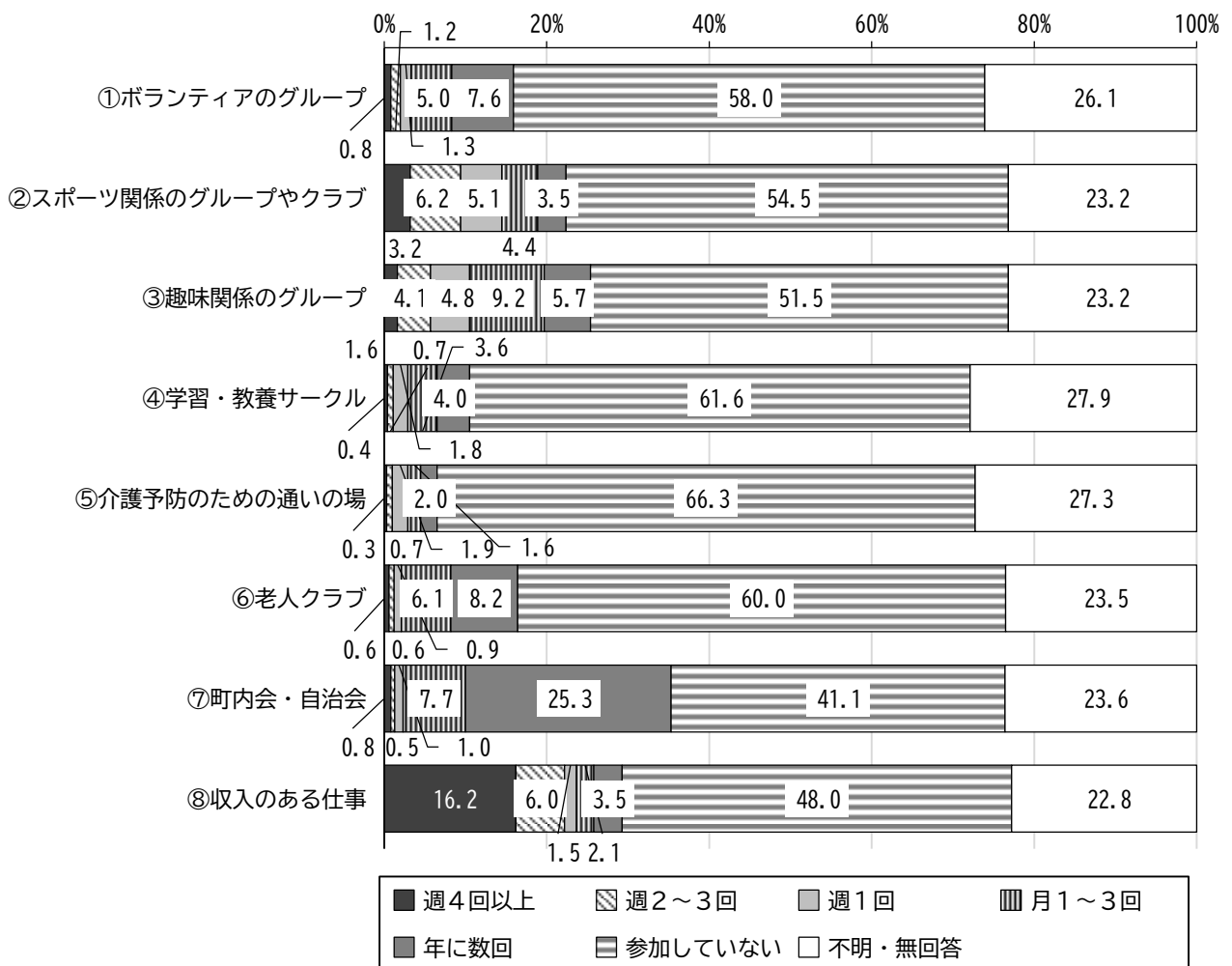


スポーツと趣味のグループは週1回以上参加が1割超。収入のある仕事、町内会・自治会を除いて、「参加していない」が過半。

会・グループ等への参加状況は、週1回以上参加している人が⑧収入のある仕事で 23.7%、②スポーツ関係のグループやクラブで 14.5%、③趣味関係のグループで 10.5%と他の項目と比較して高くなっている。一方、会・グループ等に参加していない人は、⑦町内会・自治会と⑧収入のある仕事が4割台で、他の項目では5割台～6割台となっている。

【会・グループ等への参加状況】 [問5 (1)] (SA)

全体 (n=8,371)



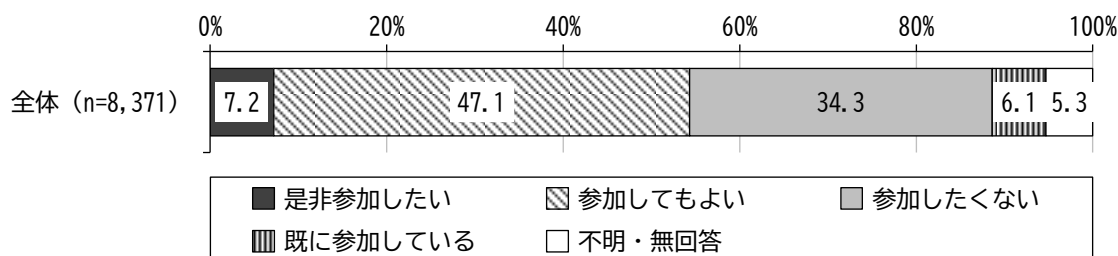
健康づくり等の地域活動への参加意向が 54.3%。企画・運営(お世話役)でも 34.5%が参加意向があり、担い手として期待される。

健康づくり活動や趣味等のグループ活動への参加意向では、参加者としては『参加したい』(「是非参加したい」「参加してもよい」の合計)が 54.3%となっている。また、企画・運営(お世話役)では 34.5%が『参加したい』となっており、活動のリーダーや担い手として期待される。

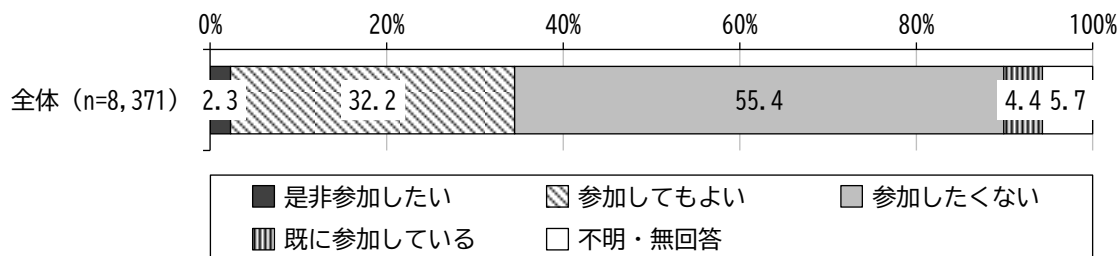
意欲の高い人を担い手として掘り起こす仕組みづくりや、前項においても、無趣味な人や生きがいが思いつかない人の割合が高いように、活動意欲の低下している対象者へのアプローチ方法について検討が必要である。

【健康づくり活動や趣味等のグループ活動への参加意向】 [問5(2)、問5(3)] (SA)

問5(2) 参加者として参加してみたいですか？



問5(3) 企画・運営(お世話役)として参加してみたいですか？

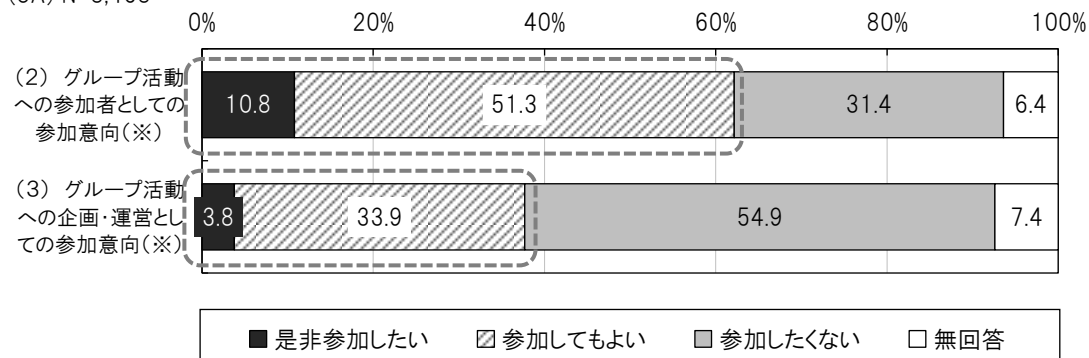


※(2) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか

※(3) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営(お世話役)として参加してみたいと思いますか

【前回(第8期)の結果】

(SA) N=8,468



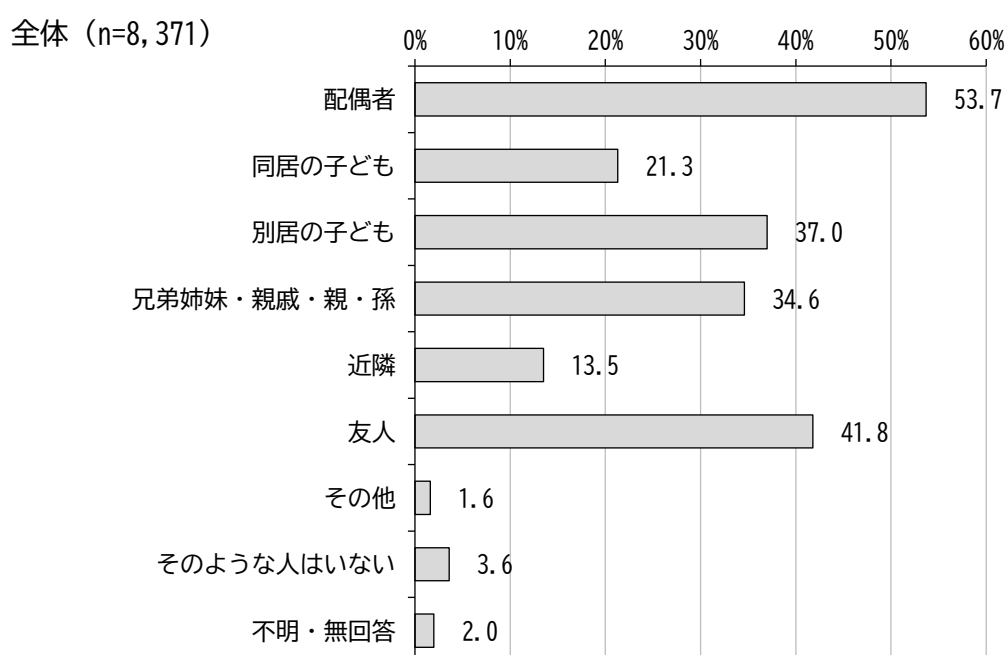
(5) 相談先について

心配事や愚痴を聞いてくれる人は配偶者や友人が多い。家族や友人・知人以外の相談先について、「そのような人はいない」が3割を超え最も高い。

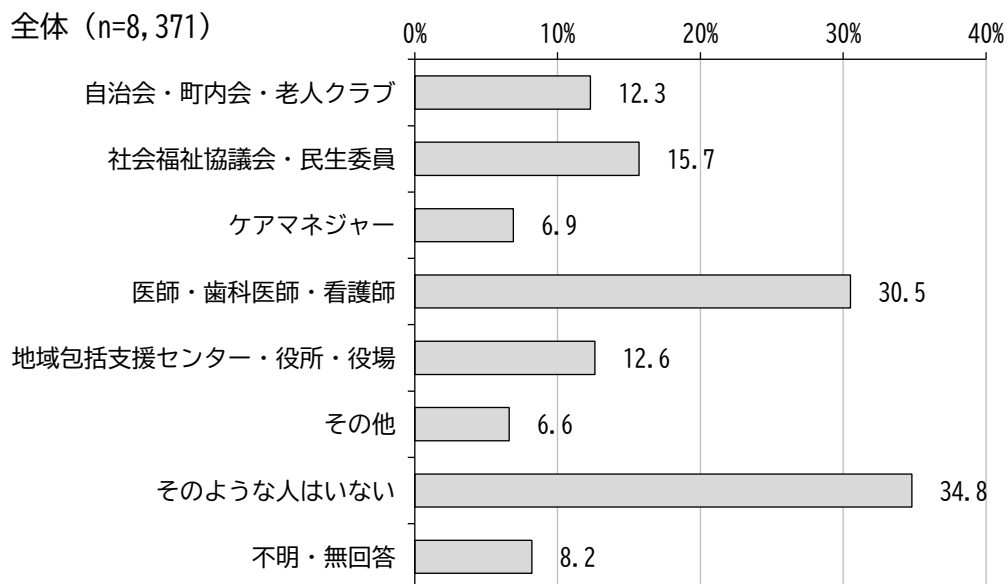
心配事や愚痴を聞いてくれる人は「配偶者」が53.7%と最も高く、次いで「友人」が41.8%となっている。

家族や友人・知人以外の相談先は、「そのような人はいない」が34.8%と最も高く、次いで「医師・歯科医師・看護師」が30.5%となっている。

【心配事や愚痴を聞いてくれる人】[問6(1)](MA)



【家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手】[問6(5)](MA)

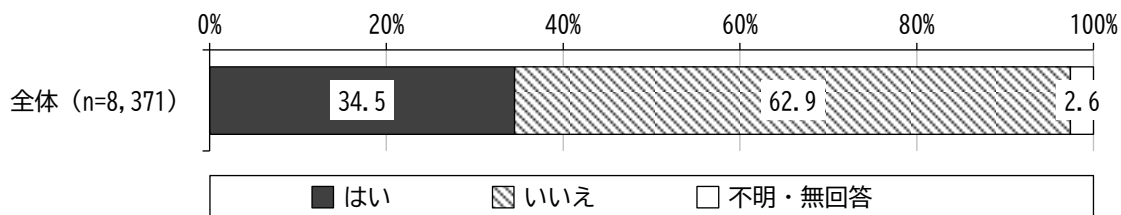


(6) 認知症について

認知症に関する相談窓口を知っている人は約3割。

認知症に関する相談窓口の認知度は、「はい」(知っている)が34.5%、「いいえ」(知らない)が62.9%となっている。

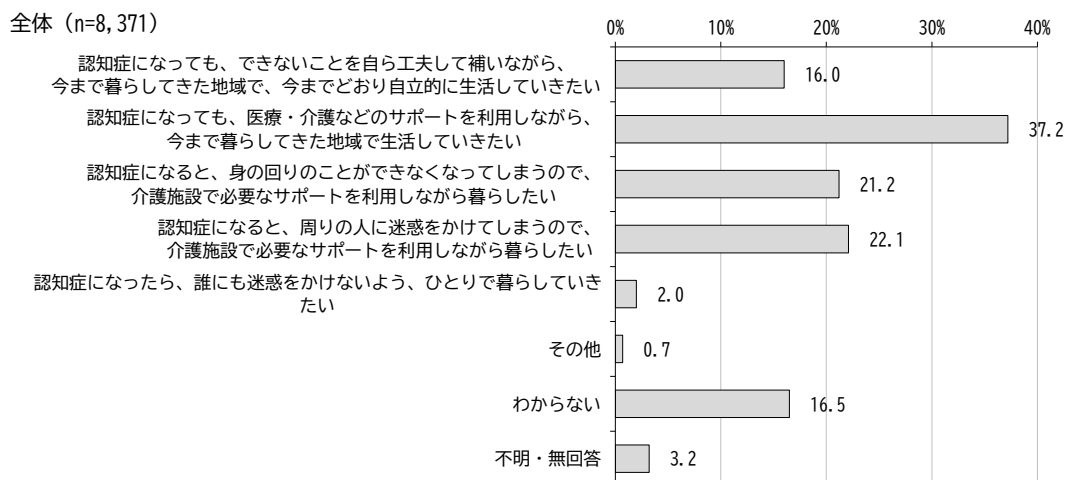
【認知症に関する相談窓口の認知度】[問8(2)](SA)



認知症になった場合、地域でサポートを受けながら生活したい人、介護施設でサポートを受けながら生活したい人がそれぞれ約4割。

認知症になった場合、どのように暮らしたいかは、「認知症になっても、医療・介護などのサポートを利用しながら、今まで暮らしてきた地域で生活していきたい」が37.2%、「認知症になると、周りの人に迷惑をかけてしまうので、介護施設で必要なサポートを利用しながら暮らしたい」が22.1%、「認知症になると、身の回りのことができなくなってしまうので、介護施設で必要なサポートを利用しながら暮らしたい」が21.2%となっている。

【認知症になった場合、どのように暮らしたいか】[問9(2)](MA)



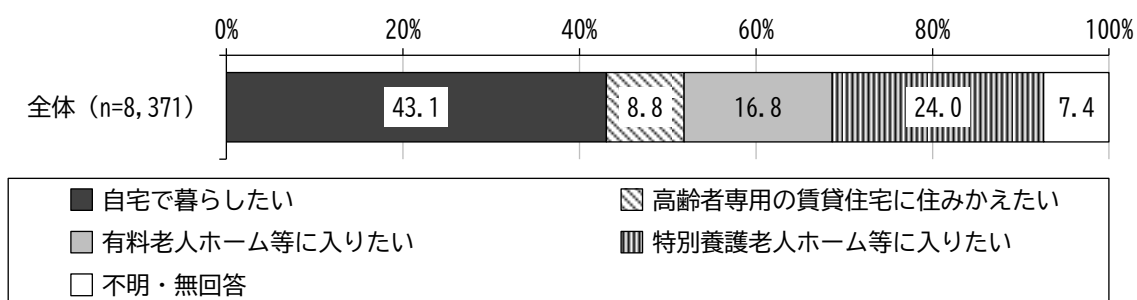
(7) 住まいについて

自分だけの力で普段の生活を営むことが難しくなった場合でも自宅で暮らしたい人が約4割。

自分だけの力で普段の生活を営むことが難しくなった場合の住まいの希望では、「自宅で暮らしたい」が43.1%と最も高い。次いで「特別養護老人ホーム等に入りたい」が24.0%、「有料老人ホーム等に入りたい」が16.8%となっている。

今後、核家族化の進行に伴い、高齢単身世帯や高齢者のみの世帯が増加することが予測される。サービス付き高齢者向け住宅をはじめ、住まいの在り方は多様化しており、高齢者自身が心身の機能を維持し、本人の意向の下、在宅生活の継続や住み替え等の暮らしが叶うよう、居住の安定確保を図る必要がある。

【自分だけの力で普段の生活を営むことが難しくなった場合の住まいの希望】[問12(1)](SA)



3 在宅介護実態調査結果

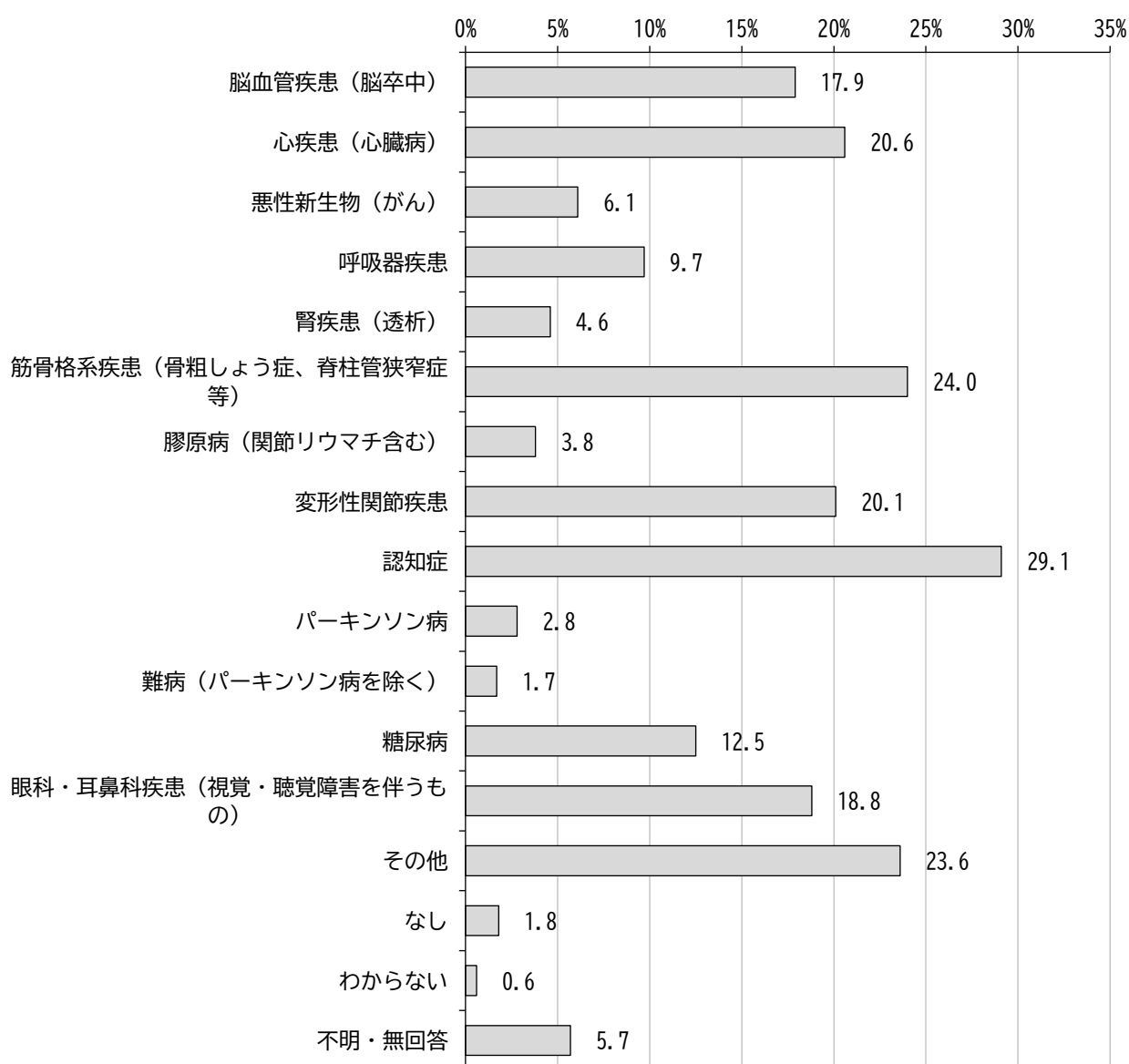
(1) 在宅介護の状況

現在抱えている傷病では、全体では認知症、筋骨格系疾患(骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等)、心疾患(心臓病)の割合が高い。

現在抱えている傷病では、全体では「認知症」が 29.1%と最も高く、次いで「筋骨格系疾患(骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等)」が 24.0%、「心疾患(心臓病)」が 20.6%となっている。

【現在抱えている傷病】[A問11] (MA)

全体 (n=783)

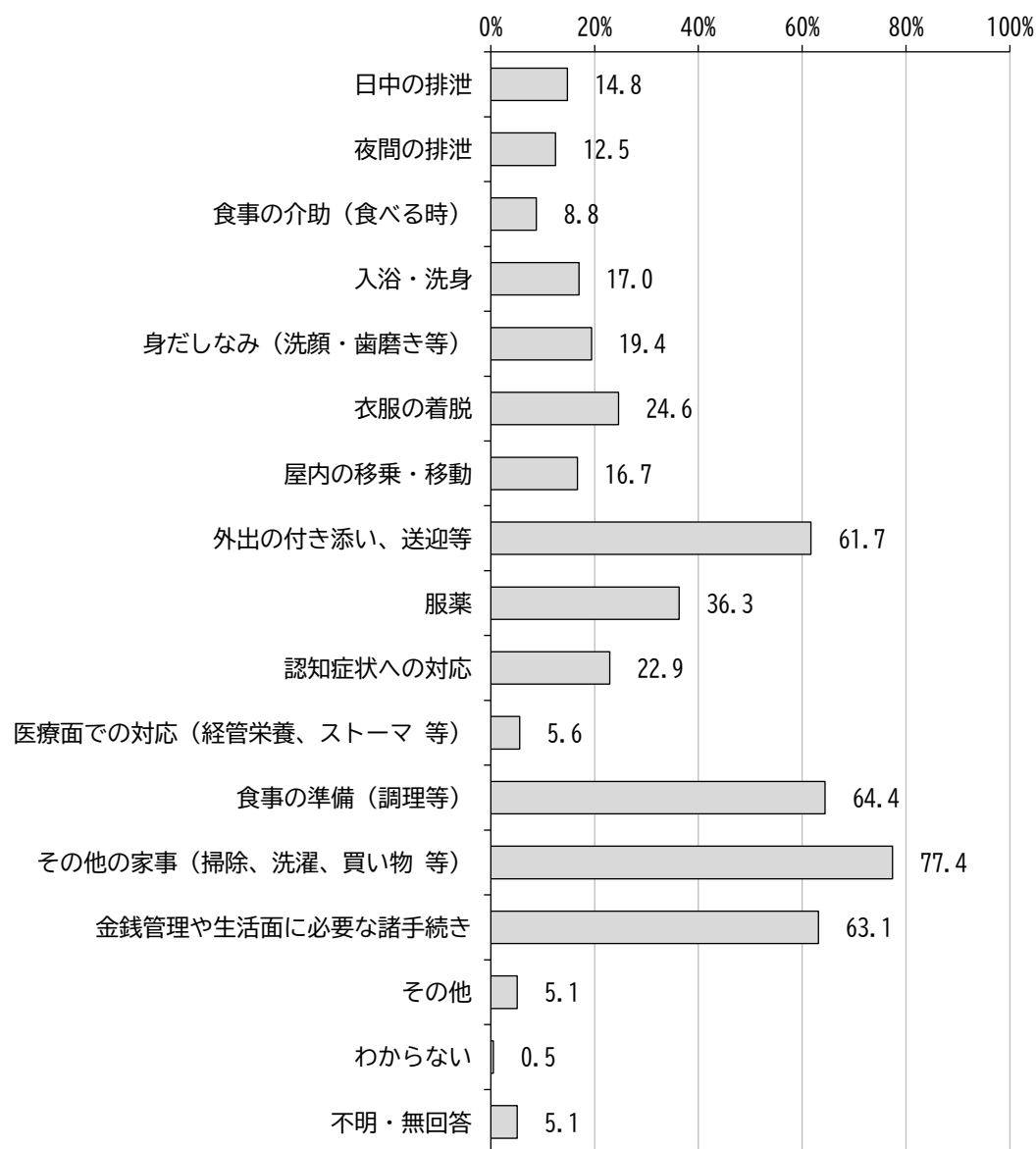


主な介護者が行っている介護は、その他の家事(掃除、洗濯、買い物等)が8割近く。

主な介護者が行っている介護は、全体では「その他の家事(掃除、洗濯、買い物等)」が77.4%と最も高く、次いで「食事の準備(調理等)」が64.4%、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」が63.1%、「外出の付き添い、送迎等」が61.7%と6割以上。

【主な介護者が行っている介護】 [A問6] (MA)

全体 (n=593)

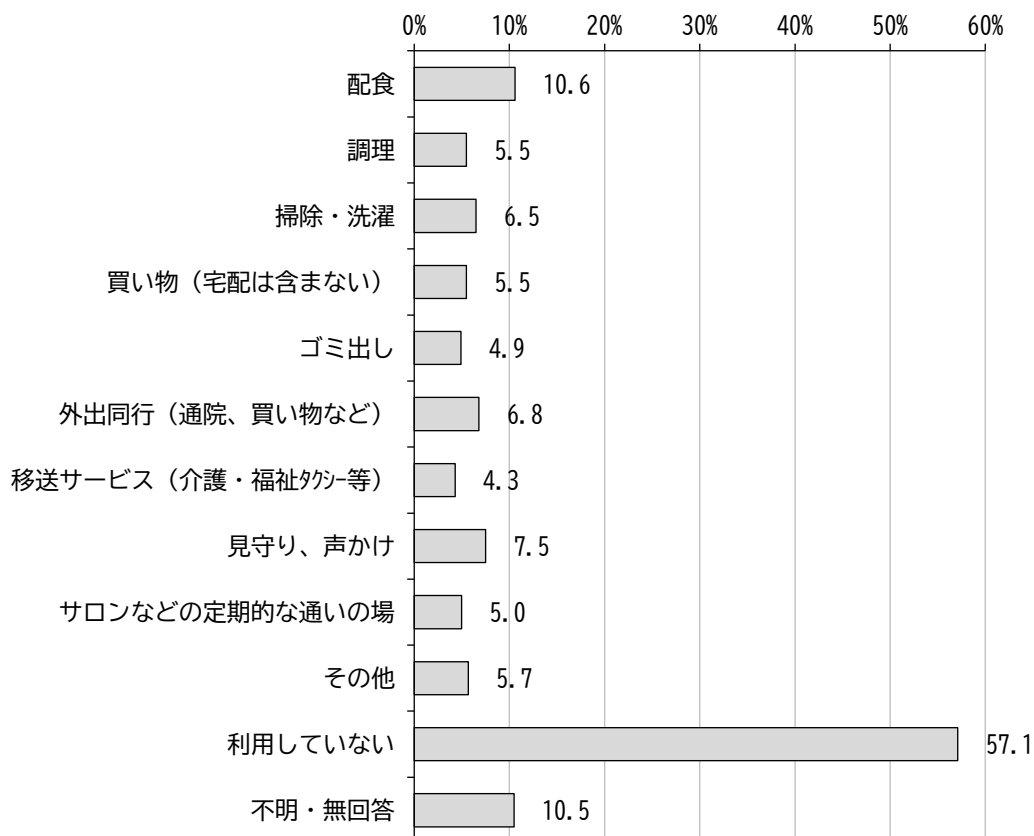


介護保険サービス以外の支援・サービスの利用状況では、利用していないが6割近いが、利用している支援・サービスの中では配食、見守り、声かけの割合が高い。

介護保険サービス以外の支援・サービスの利用状況では、「利用していない」が57.1%と利用していない割合が高い。一方、利用している人では「配食」が10.6%、「見守り、声かけ」が7.5%。

【介護保険サービス以外の支援・サービスの利用状況】 [A問8] (MA)

全体 (n=783)

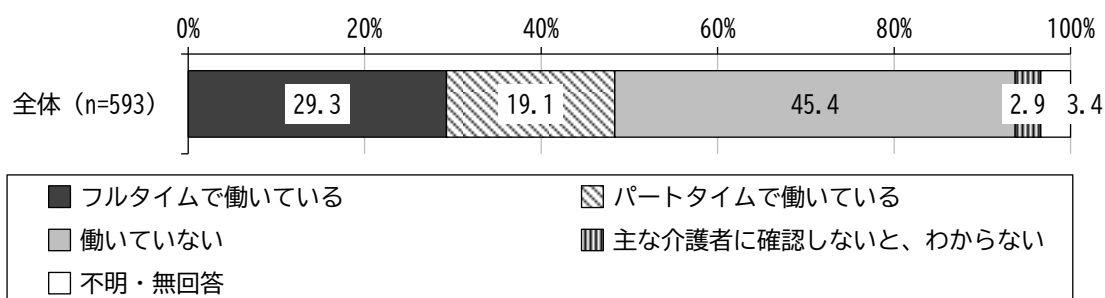


(2) 主な介護者の状況

主な介護者の勤務形態では、働きながら介護している方が半数近く。

主な介護者の勤務形態では、「働いていない」が45.4%と最も高く、次いで「フルタイムで働いている」が29.3%、「パートタイムで働いている」が19.1%となっており、「フルタイムで働いている」と「パートタイムで働いている」をあわせた働きながら介護をしている人が半数近くになっている。

【主な介護者の勤務形態】[B問1] (SA)

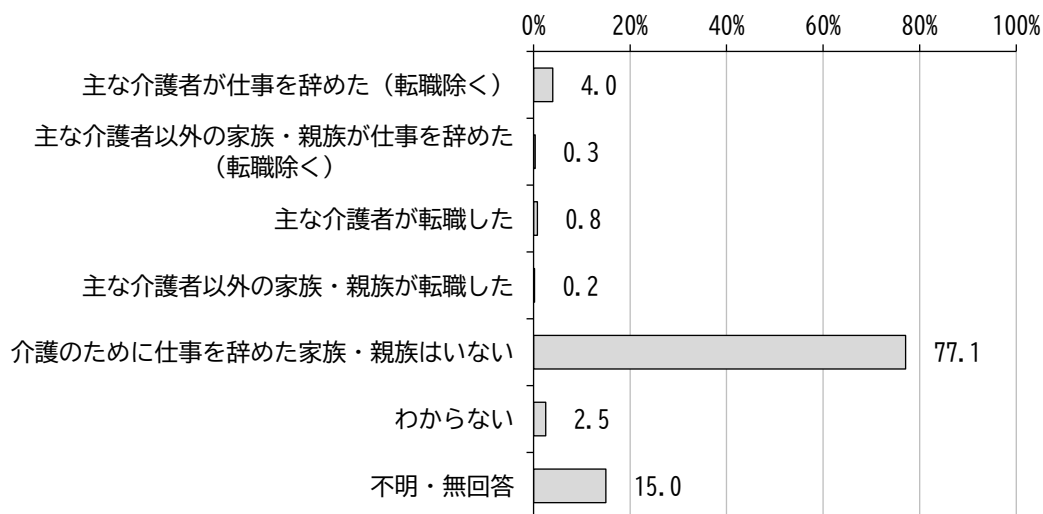


介護のために、主な介護者または介護者以外が仕事を辞めた、転職した割合は5.3%。

介護を理由として仕事を辞めた家族・親族の有無では、「介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」が77.1%と最も高い。一方、主な介護者または介護者以外が仕事を辞めた、転職した割合は5.3%となっている。

【介護を理由として仕事を辞めた家族・親族の有無】[A問7] (MA)

全体 (n=593)



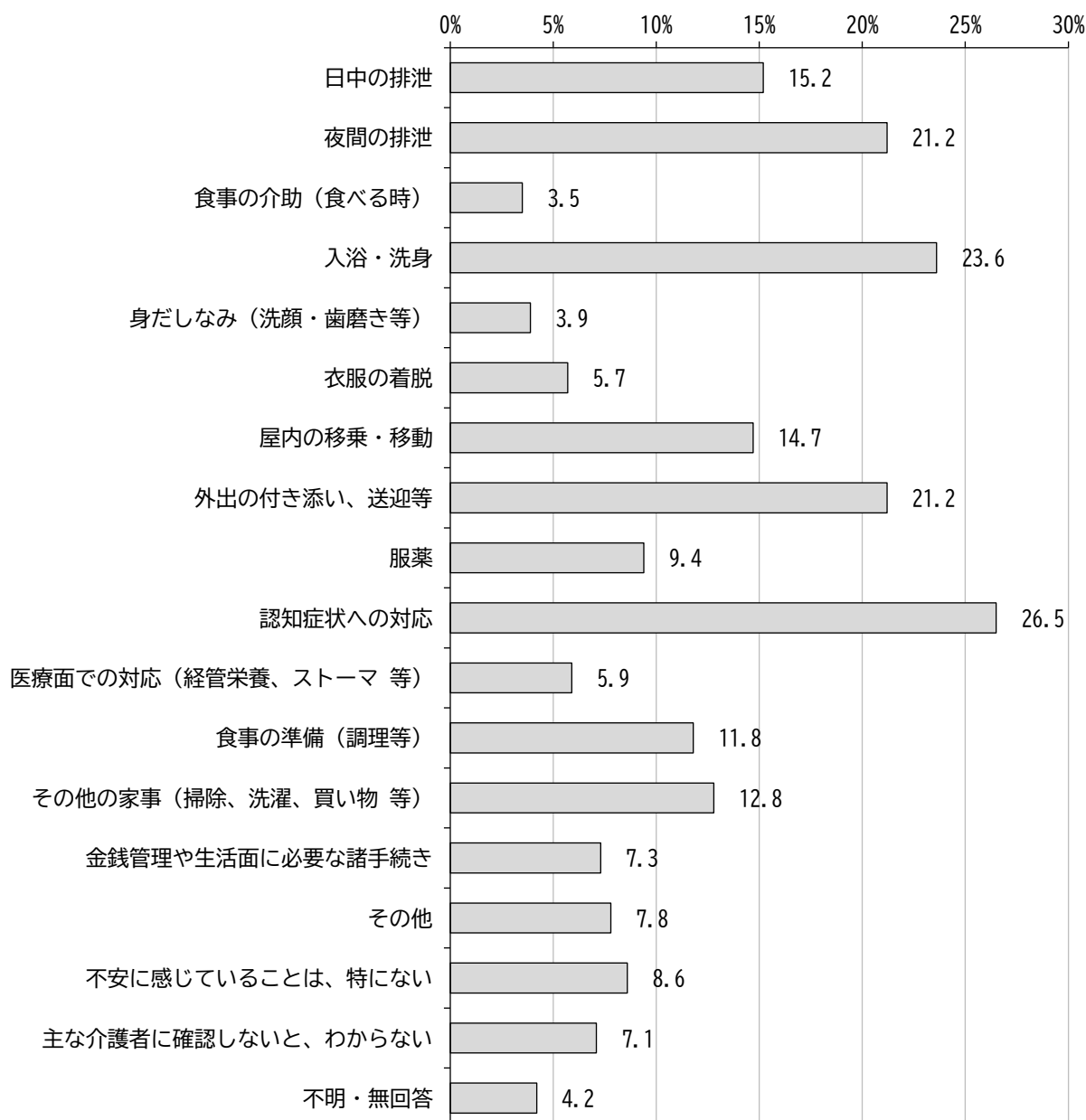
(3) 在宅生活の継続に向けた支援・サービス提供体制

主な介護者が不安を感じる介護は、「認知症状への対応」、「入浴・洗身」、「夜間の排泄」、「外出の付き添い、送迎等」の割合が高い。

現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が不安を感じる介護は、「認知症状への対応」、「入浴・洗身」、「夜間の排泄」、「外出の付き添い、送迎等」の割合が高く、それぞれ2割を超えている。

【主な介護者が不安を感じる介護】[B問5] (MA)

全体 (n=593)

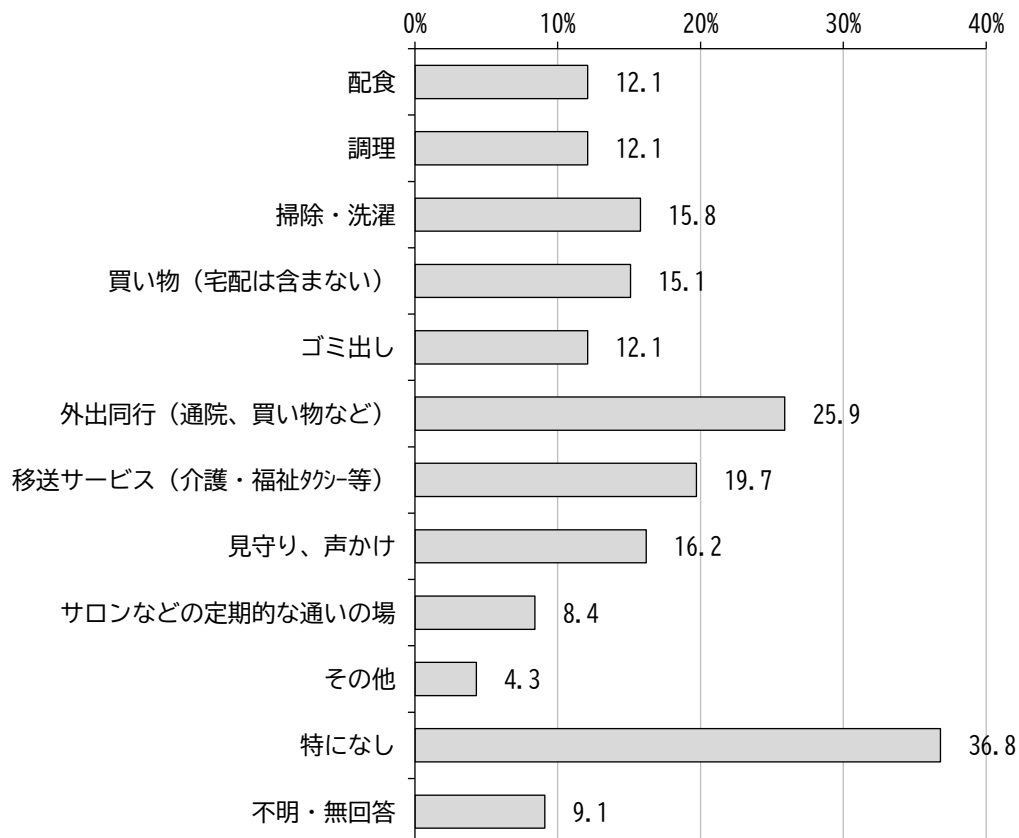


在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービスは、「外出同行」、「移送サービス」、「見守り、声かけ」が高い傾向。

在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービスは、「特になし」を除くと、「外出同行（通院、買い物など）」、「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」、「見守り、声かけ」のニーズが高い。

【在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス】 [A問9] (MA)

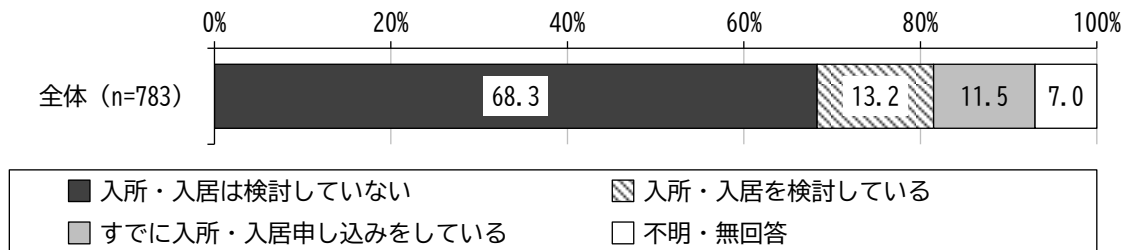
全体 (n=783)



施設等への「入所・入居を検討している」、「すでに入所・入居申し込みをしている」が1割台。

施設等への入所・入居の検討状況は、「入所・入居を検討していない」が7割近くを占めている。一方、「入所・入居を検討している」、「すでに入所・入居申し込みをしている」がそれぞれ1割台となっている。

【施設等への入所・入居の検討状況】 [A問10] (SA)



入所・入居を希望する施設は、「有料老人ホーム」、「特別養護老人ホーム」が約4割。

入所・入居を希望する施設は、「有料老人ホーム」が45.6%と最も高く、次いで「特別養護老人ホーム」が39.8%、「グループホーム」が19.4%となっている。

【入所・入居を希望する施設】 [A問10-1] (MA)

